2007.10.13　庄原市東城町

【ジンジソウ（人字草）】 *Saxfraga cortusaefolia*

花の形を「人」の字に見立てた。谷間の湿地や岩上に生える多年草。県内に自生するナメラダイモンジソウ、野生化したユキノシタと花や葉がよく似ているが、ナメラダイモンジソウには花弁に斑がない、ユキノシタは茎が赤く葉に紫斑あることなどで区別がつく。葉は根生で円形、長さ2～11cm、幅3～16cm、掌状に深く裂け、裂片には大きな鋸歯があり長い柄もある。秋に花茎が伸び高さ10～35cmになる。花は白色で長さ2～3cm、花弁は5枚、上の3弁は小さく基部に黄色または紫色の斑点がある。下の2花弁は長い。長短の雄しべ10本、葯は橙色。

●花期　9～11月
●分布　**中国地方全域**　本州（関東以西）～九州

2006.10.8　三次市君田町

【ナメラダイモンジソウ（滑ら大文字草）】 *Saxifraga fortunei var. suwoensis*

広島県から以前、ダイモンジソウ、カエデダイモンジソウと報告されていたのは本変種と考えられている。吉備高原面から中国山地の渓流で、増水時には水をかぶるような岩の上に群生している。花崗岩地帯のものは小さく、古生層地帯のものは大きくなる傾向がある。葉は根生、円腎形で浅く5～7裂し、両面と縁には粗い毛があり、基部は浅い心形で長さ3～20cmの長い柄がある。花茎の高さ10～20cm、花弁は白色で5枚、上の3枚は小さく、下の2枚は長い。10本の雄しべの葯は橙色。花床は黄色で子房を環状にとり巻いている。

●花期　7～10月
●分布　**島・岡・広**　本州（中部以西）～九州

2005.8.21　福山市千田町

【ヘクソカズラ（屁糞葛、別名：ヤイトバナ、サオトメカズラ）】 *Paederia scandens*

かわいそうな名前ナンバーワンの植物であろう。しかし、茎葉を傷付けたときの臭いを嗅ぐと、しかたないかと思う。学名も悪臭という意味らしい。別名を普及させようとする向きもあるが、インパクトが違う。茎は左巻きで他の植物に絡み付いて長く伸びる。葉は対生し、長さ4～10cmの楕円形～長卵形で先端は尖り、基部は心形。葉腋に集散花序をつくり、灰白色の花をまばらに付ける。花冠は長さ約1cmの釣鐘形で、筒部の内側が紅紫色。黄褐色で光沢のある球状の実を付ける。

●花期　8～9月
●分布　**中国地方全域**　日本全土　東南アジアに広く分布

2002.9.5　安芸高田市吉田町

【アカネ（茜）】 *Rubia argyi*

その名のとおり、根が赤いかというと、生では橙黄色で、この根を乾燥させると赤くなる。これを古来、染料として使う。茎は四角形で、稜には下向きの棘（とげ）がまばらにある。分枝して蔓状、他の植物に引っかかるようにして伸びる。葉は長さ3～7cmの三角状卵形～狭卵形で基部は心形。長さ1～3cmの葉柄があり、4輪生する。裏面の脈上から葉柄にかけて、逆向きの棘がある。葉腋から出た花序に点々と花が付く。花冠は黄緑色で直径3～4mm。

●花期　8～9月
●分布　**中国地方全域**　本州～九州　朝鮮半島　中国

2002.9.22　三次市君田町

【クロバナヒキオコシ（黒花引起）】 *Rabdosia trichocarpa*

ヒキオコシに似て、花が黒く見えることからクロバナヒキオコシと呼ばれる。主に日本海側の山地に分布し、明るい林縁や路傍、草地などに見られる。茎は四角形で、稜に毛があり、高さ0.5～1.5m。葉は対生し、質が薄く、長さ6～15cmの広卵形。縁に鋸歯があり、先端は尖って、基部は翼状の葉柄に流れる。枝の先端近くの葉腋から、まばらな円錐花序を出し、暗紫色で長さ5～7㎜の唇形花を多数付ける。分果は倒卵形で、長さ約1.5mmで先端に短い白毛がある。

●花期　8～9月
●分布　**鳥・島・岡・広**　北海道～本州（日本海側）

2004.9.21　庄原市西城町

【アキチョウジ（秋丁字）】 *Rabdosia longituba*

山地の落葉広葉樹林の林縁や谷筋、山道沿いなどの半日陰の場所に生育する。茎は四角形で、直立するが花期には斜めになっていることが多い。高さ60～90cm。葉は対生して柄があり、長さ7～15cmの狭卵形。まばらに毛があって先端は鋭く尖る。基部はくさび状の翼になって葉柄に長く流れる。茎の先端や葉腋から総状花序を出し、片側に青紫色の唇形花を付ける。花冠は長さ1.7～2cmで、上唇は4裂し、下唇は舟形となる。花冠が長いのが特徴で、学名も「長い管」という意味である。

●花期　8～10月
●分布　**中国地方全域**　本州（岐阜県以西）～九州